

# Run らんらん



## 特集 藤枝型 小中学校における 男女共同参画社会 実現への取り組み

- ★ 小学校では「マイジョブ講座」..... 2
- ★ 中学校では「ふれあい出前講座」..... 3
- ★ 共に生き共に輝く「まち」を目指して..... 6
- ★ Essay For You ..... 8

## Essay For You

### ささやかな楽しみ

まつした  
松下 ひろみさん

静岡県男女共同参画会議委員。大卒卒業後、新聞社勤務を経て、小中学校に34年間勤務。趣味は旅行・フラダンス。

私は、小学生では書道・珠算を、成人してからは琴・茶道・華道・着物の着付けなど、日本の伝統文化に親しんできました。その一方、未知の世界への好奇心や異文化への関心も強く、家族や夫婦で二十七か国へ出かけました。素晴らしい世界遺産や芸術作品を自分の目で見た時の新鮮な驚きや感動は大きく、視野も広がります。

しかし、旅は非日常空間です。観光名所を訪ねる海外旅行では、その国や人々の本当の姿はわかりません。現地の一般家庭で共に過ごし、生活者の目線で、暮らしぶりや考え方を知る生活体験や交流に興味があるので、以前、オーストラリアとブルネイにホームステイしました。互いの文化や習慣・言葉などの違いを認めることは、相手の国や人を理解し、尊重することにもつながります。

そこで、わが家も日常生活をしながら外国人を受け入れるボランティアを十九年間続けています。十八か国・約四十人の外国人がお盆や年末年始・土日曜などにホームステイしました。東日本大震災をニュースで知った米国・オーストラリア・韓国などの友人たちから安否を気遣うメールやクリスマスカードが届くと、離れていても絆を感じ、心が温まります。



昨年はオランダのモデルブルクに、今年ドイツのフランクフルトとハンブルクの一般家庭にホームステイをしました。二家庭共、車で一時間美しい森を走り抜けた静かな村にあり、広い庭には緑の木々やきれいな花がいっぱい。古いものを大事にし、リビングルームの置物や絵画は、先祖代々から引き継いだ思い出あふれる物ばかり。大きな透明の窓ガラスは、ピカピカ。整然と一列に並んだ台所の調理道具や香辛料のビン。朝夕食の準備・片付けは、夫婦二人で、家の修理は夫、庭の花の手入れは妻と役割分担し、互いの能力を認め尊敬・信頼しあっていました。ドイツ・ニュルンベルクのサッカーチームに所属している長谷部選手が写っているポスターを見せ、藤枝やサッカーを紹介すると、雰囲気が和みました。こうした市民レベルの草の根国際交流活動を通じた素敵な人との出会いや新しい発見は、私の喜びです。

### 女性のための相談室

あなたと一緒に考えます

女性が抱えている様々な問題や悩みについて相談することができます

予約制  
無料

相談日 毎週木曜日13:30~  
相談会場 藤枝市役所 西館3階 市民相談センター  
相談予約電話番号 643-3198

藤枝市 男女共同参画課

「男と女違っていたり同じだったり」

言葉が時代とともに移ろうのは当然のことです。とはいっても、自分の馴染んだ言葉遣いを基準にするのが人の常ですから「最近の若者の言葉は乱れている」といってしまいがちです。自分の言葉だとして古い世代の響きを買っていたはずですが、そんなことは忘れていくのです。

言葉は簡便な方向に変化するといえるでしょう。「なにげなく」に比べ「なにげ」には一文字少ない分、楽です。「じやないか」よりも「じやん」の方がよほど楽です。もはや我らが「じやん」は全国区です。ハングルほどではないものの、他の言語よりも複雑な日本の敬語、その敬語も使いこなせない人が増えていき、単純化していくのでしょうか。その可能性はありますね。

男言葉女言葉の別は敬語より先に消えつつあるようです。「別に実害がなければ大した問題ではない」とも言えますが、楽なら良いというものではないという反論も当然出てくるでしょう。作法というものは実利を越えた精神の問題で、だからこそより重要なとも言えます。

変化は止めがたしと考えるので、私は岸辺で流れを見ていただけですが……。(S)

男女共同参画社会づくり情報誌  
Run らんらん  
第16号  
2013.12.20

【編集】藤枝市 市民文化部 男女共同参画課  
〒426-8722 藤枝市岡出山一丁目11番1号  
TEL 054-643-3198 FAX 054-643-3327  
E-mail: danjo@city.fujieda.shizuoka.jp  
情報誌を読んだの感想をお寄せください  
この情報誌は再生紙を使用しています

市民から公募した編集委員が企画・編集をしています  
編集委員 井出紀美子 澤田 洋一  
河村 峯子 寺島 嘉彦 八巻 千恵

お祝い・お返し・喜しのギフト  
贈りもの専門店 **コンツナ**

藤枝市岡出山2丁目10-22 (市役所前)  
営業時間 午前10時~午後7時 定休日 日曜日  
TEL 054-641-6543

美しい蒔絵筆筆記具は  
**jimuki**からはじまる

①(藤の花・富士山・お茶畑)蒔絵風多機能ボールペン (ボールペン 黒・赤、シャープペン)  
②(藤の花)蒔絵風万年毛筆  
③(富士山)蒔絵風万年毛筆  
④(善哉の花)蒔絵風万年毛筆  
※ペンが苦手な方には、水性ボールペン、手帳ペン、ボールペンの替芯もご用意しております。

**jimuki**  
株式会社 藤枝事務商會

緑町店 藤枝市緑町2-8 tel.054-645-1997  
岡出山店 藤枝市岡出山11-9-14 tel.054-641-2080  
営業本部 藤枝市岡出山2-8 tel.054-641-0722(代)

ホームページ <http://f-jimuki.co.jp/>

21世紀からの人形本舗  
~ 正月・三月・五月人形、つるし飾り、志太天神継承、麗のぼり ~

結納品と **人形 雛 常**

~12月29日まで / 9:00~17:00 無休  
1月2日~4月未まで / 9:00~19:00 無休  
※年内営業は12月29日まで、新年は1月2日(木)より営業いたします。

ホームページ <http://www.hinatsune.jp>  
〒426-0026 静岡県藤枝市岡出山3丁目3-23  
TEL/054-647-5720



# 特集 藤枝型 ~共に生き 共に輝く 社会を目指して~ 小中学校における

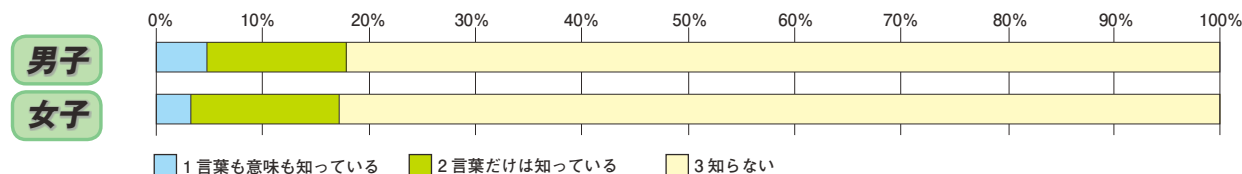
## 中学校では ふれあい出前講座

市民グループ「ファシリテーターズ藤枝」(代表・山田鉄子さん)との協働で、市内7校の中学1年生(藤枝中学校では2年生)を対象に、「ふれあい出前講座」を実施しています。

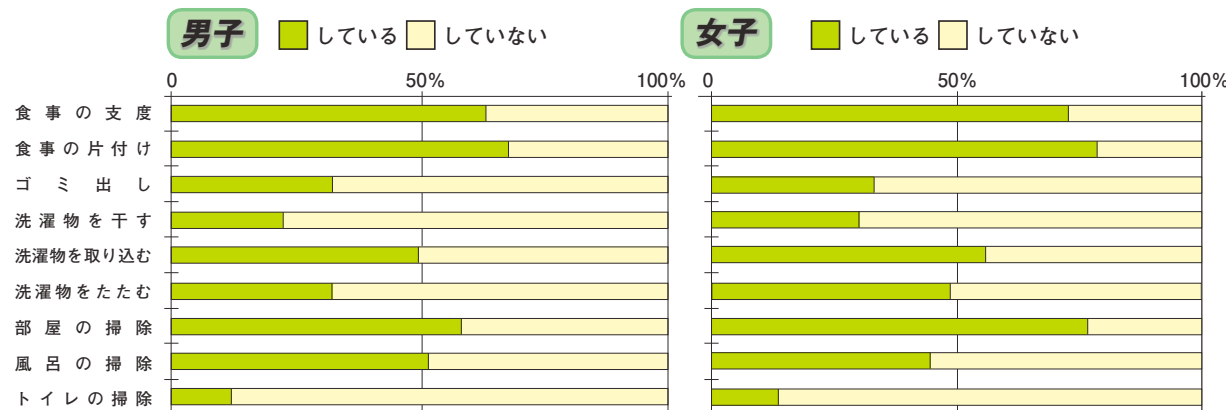
### 受講前の中学生の意識は?

事前アンケートの集計結果  
実施校6校 566人

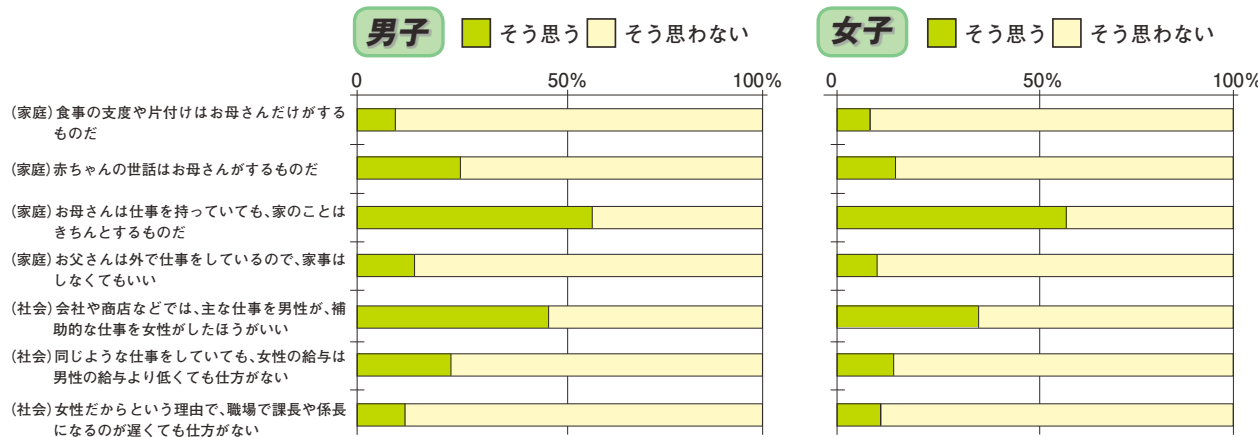
#### I. 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか?



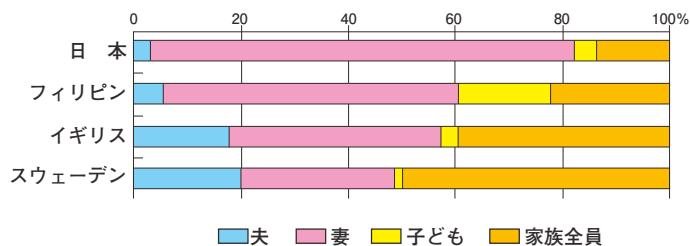
#### II. あなたは家でどんな手伝いをしていますか?



#### III. 次の文章を読んで、どう思いますか?



### 学習に使う資料



日本・フィリピン・イギリス・スウェーデンの「食事の後片づけは主にだれがするか」を調査した結果

静岡県「男女共同参画に関する副読本」(中学生向け) 平成21年度改訂より

# 男女共同参画社会 実現への取り組み

## 小学校では マイジョブ講座

性別のイメージにとらわれないで職業を選んで活躍している先輩から話を聞き、さまざまな職業について学びます。先輩たちの生き生きとした姿を目の当たりにして、将来への夢がより大きく広がります。

### ゲスト登場前のインタビュー みなさんの将来の夢は?

みなさんも、6年後にはお仕事をしたい人もいます。だから責任を持って行動をとらないといけないですね。将来なりたい職業を公表してください。

私は動物学者になりたいです。絶滅しそうな動物の生態を調べて、助けたいと思います。

ぼくはプロサッカーの本田選手や長谷部選手みたいになりたい。

私は人とかわるのが好きで、コミュニケーションを取りたいので、ショップの店員になりたいです。

絵を描くのが好きなのでイラストレーターになりたい。夢に向かって、いっぱい絵を描いて、夢が叶うといいなあと思っています。

### 私の職業は?

仕事の制服の上からマントを羽織った講師3人。子どもたちに職業を当ててもらいます。

消防士 星野有美さん

看護師 杉山慶樹さん

保育士 日高太一さん

大学時代にライブセービング活動で海の監視員をしていました。そこで命の尊さを実感し、人を助けるプロを目指しました。尊敬する先輩に女性消防士の方がいて、色々なアドバイスをいただきました。消防士になりました。

病弱な子どもだったのでよく入院しました。その時の看護師さんの優しさが嬉しかったので看護師になりました。看護師になる勉強は大変です。あまり勉強は好きではなかったけど、本当になんかたかったので、頑張っていました。

保育園の先生になるには、子どもが大好きで、子どものために頑張ろうという気持ちが一番大切です。自分がお世話した子の子どもが入園してきたら、お父さんお母さんになった姿を見るのが夢です。

仕事って男女に関係ないんだね。

かっこいい!

マントを脱いだら...



男女共同参画社会の実現に向かって

中学生と一緒に考える学習

**男女共同参画社会実現のために**  
一人ひとりの人権が尊重されて、男女が対等に活躍できる社会が男女共同参画社会です。その実現のためには私たち自身が自分で考え、行動していける人にならなければなりません。そして、当たり前だと思ってきたことの中にある不平等にも気づいていきたいです。



出前講座を受けて感じたこと

**生徒の感想**  
女性だってやりたいことがあるのだから、家事分担をした方が良く思う。これからは家の手伝いをしようと思う。  
女の人(主婦)が家事をやるのは決まっていけない。皆で協力し合い、皆平等に生活していけたらいい。  
一人ひとりに権利はあるけど、それをどうしたら実現できるかということも学んだ。やはり協力していくことが一番だと思った。  
講座を受けるまでは、男性が働くものだと思っていたが、女性ならではのアイデアで女性の好みや欲しがらるものを開発していけば、男性だけの会社より売り上げが伸びると思った。  
女だから、男だからという考えが、早く日本からなくなつてほしいです。  
男女共同参画社会とは「男も女も気持ちよく生きやすさしよう」ということだと分かった。これから大人になつても、男女共同参画社会の気持ちを忘れずに過ごしたい。  
家族でもクラスでも誰かに仕事を押しつけるのはいけないと思った。みんな協力していけばいい。  
意見の押しつけに聞こえた。無理に男女平等を強調しなくてもいいと思う。男性と女性では力の差もあるし、違いもたくさんあるので、それぞれの得意分野をのばせばいいと思う。  
スウェーデンはお母さんだけでなく皆で協力していることにびっくりした。



お母さんは大変だと思うけど、家事と仕事の両立ができないなら、仕事を辞めて主婦になつた方がいいと思つた。  
私は男子と女子とで分けられる時「不平等じゃないか」と思うときがあります。そういうときは、話し合つてお互いの気持ちを理解することが大切だということが分かりました。  
姉は障がい者でパートで働いてます。家族はとても忙しそうなので、少しは手伝おうと思いました。  
私の家は母がいないので、家事は私がほとんどやっています。今思えば、何でも親に押しつけていたように思います。一人ひとり、自分たちでできること、やらなければならぬことがあるので、しっかりやりたい。  
お母さんは大変だと思うけど、家事と仕事の両立ができないなら、仕事を辞めて主婦になつた方がいいと思つた。  
私は男子と女子とで分けられる時「不平等じゃないか」と思うときがあります。そういうときは、話し合つてお互いの気持ちを理解することが大切だということが分かりました。

**保護者の感想**  
保護者の参観があつた学校で感想をいただきました。  
家事を子どもや夫に教える手間を考えると、自分でしてしまふことが多いです。でも、自分のため、子どもの自立のために協力してもらつた方が良く感じました。自立したら後は人の助けになる優しい人になれると思つきました。  
離婚という言葉が出て驚きました。それでも、協力、話し合つという言葉のほうが多くて少し安心しました。意見を言えず、仕事を調整している女性が多いと思います。  
働く女性として思うことは、まだまだ社会は女性の社会進出に消極的であり、家事や育児で休暇を取りにくい環境です。家族が協力して家事を分担し、母親だけに負担がかからないようにしていけば、女性はもっと輝き、幸せになれると思います。このようなことを家庭で話し合つてもなかなか理解してもらえないので、こういう授業をやつていただけてとても有り難いと思つきました。  
男女平等といわれていますが、まだまだそういう世の中ではないと思つます。こういった講座を聞く機会は子どもにとつて良いことだと思います。  
両性の体力的な差異はどう考えたらよいでしょうか？  
子ども達はもうこんな内容を理解しているのかと、とても驚きました。

中学では、一学期は岡部、西益津、大洲、二学期は広橋、瀬戸谷、藤枝の各中学校で実施。三学期は青島北中学校で実施予定。

寸劇で問題提起



ごく普通の家庭の一場面を自分のこととしてとらえやすいように、劇の形で問題提起します。  
希望した生徒たちで演じます。時には男子がおばあちゃん役、お母さん役を...。みんな名演技！

寸劇 この家族のこれからは... 残業続きのお父さんが 久しぶりに早く帰宅すると...



めぐみは大型スーパーのパート従業員です。息子のヒロシが中学生になつたので、フルタイムで働くようになり、女性服売り場に配属され、上司から仕事ぶりが認められるようになりました。

グループ討論

5〜6人のグループに分かれ、この家族それぞれ立場に立って何をしたらよいか自由に意見を出し合います。  
お母さんは仕事を辞めて専業主婦になつた方がいいパートの時間を短くしたら...  
お父さんとヒロシはわがまますぎ  
おばあちゃんだってもっと手伝えるよ  
みんな、自分でできることは自分で  
お父さんがもっとお母さんの相談に乗つてあげたらいいのに  
お母さんは研修に行くべきではない  
みんな、お母さんに任せすぎだよ  
家事をみんなで分担したらい

グループ発表

グループで出た意見を発表し合います。黒板に出た意見を色分けして書き出し、その違いに気づいてもらいます。

- お母さんは仕事を辞める
- 研修に行かない
- パートの時間をもっと短くする
- 主婦は主婦らしく
- コンビニ弁当はダメ
- お母さんは家事をしっかりとやる
- 家事を分担する
- みんなで協力する
- 自分のできることは自分でする
- 家族全員がお母さんの気持ちを理解すべき
- 家族でよく話し合う



※ワーク・ライフ・バランス  
(仕事と家庭の調和)  
推進のロゴマーク  
意識をカエル! 働き方をカエル!

# 共に生き共に輝く

地域、職場、学校、

# 「まち」を目指して

家庭の4分野から



## 家庭

### パパママ講座事業

父親の家事や育児への参加を支援することで、広くワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。親子で楽しみながらふれあい、学ぶことのできるイベントや講座を開催しています。

#### 笑顔広がる「パパごはん」



ナスの乱切りはね...



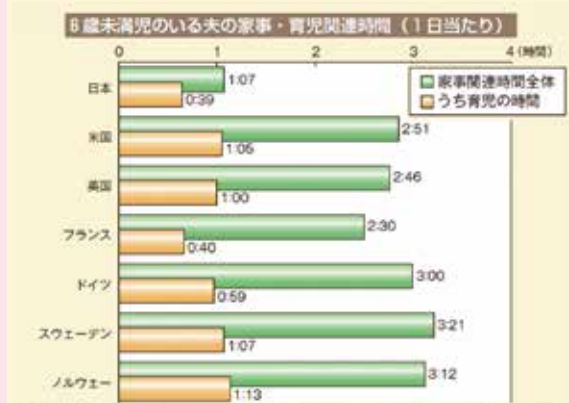
エビの背ワタ、取りにくいね



野菜はしっかり炒めよう

東海ガスクリッピープラザで、7月、8月、11月の3回、「パパごはん」を開催しました。対象は男性保護者と小1～小4の子ども。最初は恥ずかしそうなパパと子どもでしたが、料理が完成する頃には二人とも満足そうでした。特にパパはうれしそうでした。

#### パパ、もっと手伝ってよ



平成25年度 男女共同参画白書(内閣府)より

#### パパの感想

- 子どもと料理しながら話す時間ができて楽しかった。
- 子育て中の男性保護者と話ができている参考になった。
- 料理はしたことがなかったので不安だったけど、楽しかった。家でも挑戦してみたい。
- 家では娘に包丁を握らせる機会がなかったので、とても喜んでいました。

#### 子どもの感想

- お父さんがこんなに料理ができるとは思わなかった。
- ナスの切り方がむずかしかった。
- お酒を使ったので酔ってしまおうか心配だった。大丈夫だったけど。
- 豚肉を炒めるのがたいへんだった。
- いつもご飯はあまり食べないけれど、自分で作った料理だったので全部食べられた。おいしかった。

#### 「パパと遊ぼう!」



#### クリスマス親子コンサート



12月8日(日) 青島北公民館で県内の保育士たちの有志バンド「コンソメWパンチ」によるクリスマス親子コンサートを開催しました。子どもが飽きないように配慮した進行はさすがです。皆さん、手拍子しながら自然に身体も動いていました。

## 市民フォーラム

平成25年度 内閣府  
男女共同参画週間キャッチフレーズ

つながるって、大切!



6月23日、生涯学習センターにてTBSキャスター杉尾秀哉氏による講演会を開催しました。演題は「男女がつくるまちづくり」。東北の被災地を例に地域の人々とのつながりの大切さ、子どもや配偶者とのコミュニケーションの重要性を話されました。



藤枝市における男女共同参画意識の普及・啓発を図るため、毎年、男女共同参画週間(6月23～29日)に合わせて講演会やパネル展示を行っています。

## 地域

### 地区推進員事業

地域から男女共同参画を推進するため、各地区で選ばれた推進員が自ら企画して様々な啓発活動を行っています。みんなで計画して実行する。これこそ男女共同参画社会です。



広幡地区 ふれあいまつりにて



瀬戸谷地区の朗読劇



青島南地区の講演会

## 職場

### 推進事業所認定事業

「推進事業所認定制度」男女共同参画の推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮しながら男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる事業所を市長が認定しています。



事例発表をする  
共立アイコム  
の鈴木さん



犬塚氏との意見交換会

今年2月に市内企業を対象に「講演会及び事例紹介」を開き、講師の犬塚氏との意見交換を行いました。この事業は毎年開催して行きます。(犬塚氏) 県立大学国際関係学部教授、同大学男女共同参画推進センター長

## 学校

### ふれあい体験学習事業

小学生  
中学生

マイジョブ講座  
ふれあい出前講座

小学生や中学生を対象に、男子や女子であることにとらわれることなく自由に職業を選択できることや、お互いの人権を認め合うことを生徒と一緒に学びます。今回2～5ページで特集しています。